

大切なお知らせです スプレー缶類のごみの出し方について

これまでいくつかの自治体で、スプレー缶類の不適切な方法での穴開けが原因とみられる爆発事故が発生しているため、中身を完全に使い切って、穴を開けずに再生ごみの【スプレー缶類】として出していただくようお願いします。

【スプレー缶類の出し方のポイント】

- 中身を使い切って、スプレー缶類の穴開けは不要です。
- 再生ごみの日にビニール袋に入れ、【スプレー缶類】として出す。

＜スプレー缶類のごみの出し方＞

① 缶をカラにする

↓ 中身を完全に使い切ってください。

② 缶がカラになったか確認する

↓ 缶を振って、中身がカラであることを確認してください。

③ ガスを抜く

↓ 製品に書いてあるガス抜き方法をよく読んで行ってください。
ガスを出し切るための「ガス抜きキャップ」が装着されている場合があります。

※ガス抜きする場合は、下記【関連情報】を確認のうえ、十分に注意して行ってください。

④ ごみに出す

缶に穴を開けず、ビニール袋に「スプレー缶類」と表示して再生ごみに出す。かん専用の指定袋とは別にしてください。



【注意点】

- ○ごみ収集車や処理施設での火災の原因になるため、絶対、指定袋に入れるカン類とは一緒にしないでください。混在している場合は、収集できません。
- ○スプレー缶類をカラにする時は、火気のない風通しの良い屋外で行ってください。
- ○どうしても使い切れない場合は、製品メーカーへお問い合わせください。
- ○キャップ（ふた）等のプラスチックは、埋立ごみに出してください。

【関連情報】

- スプレー缶：（一社）日本エアゾール協会<<http://www.aiaj.or.jp>>
- カセットボンベ：（一社）日本ガス石油機器工業会<<http://www.jgka.or.jp>>

【参考】

- スプレー缶類例：制汗スプレー、殺虫剤、ヘアスプレー、消臭スプレー、スプレー式鎮痛剤、シェービングクリーム、カセットボンベ等
- 問い合わせ先
町民環境課 TEL377-5653
環境クリーンセンター TEL365-9017

家庭ごみを減量しましょう！

どうしたらごみを減らすことができるの？

■買い物袋（マイバッグ、マイバスケット）を使う

不要なレジ袋を減らすことができます。

■ごみになるものを買っていませんか？

買い物は詰め替え製品や簡易包装のものを選ぶなどしてごみが出ないものを買うようにしましょう。

食料品を買うときは、献立を考えて必要なものだけ買うようにしましょう。

■生ごみの水切りをしましょう

生ごみの約70%は水分です。生ごみの水分をしっかりと切れば、ごみ重量が減ります。生ごみの袋をしぼって水気をしっかりと切りましょう。

ごみ減量チェック表

- ☐ 台所の生ごみ→最後のひとしぼりで水分を切る
 - ☐ 食品トレー→店頭回収している店の回収場所へもちこむ
 - ☐ 食品ラップ
→ラップを使わずできるだけ密封容器を使う
 - ☐ シャンプーなどの容器→詰め替え製品を使う
 - ☐ 一升瓶、ビール瓶→酒の販売店に返却する
 - ☐ お菓子の空き箱、トイレットペーパーの芯
→再生ごみ（雑誌・紙類）で出す
- *チェック項目を増やしてごみの減量、資源の有効活用しましょう。

問い合わせ先 町民環境課 TEL 377-5653